

磐田市議会
平成 30 年度 議会報告会
実施報告書



©磐田市

平成 30 年 10 月 27 日開催

実施報告書目次

1	開催概要	1
2	各会場報告	2
3	グループワーク意見	14
4	アンケート集計結果	22
5	参考資料	32

1 開催概要

(1) 開催日時、会場

開催日：平成 30 年 10 月 27 日（土）

開催時刻	10：00～11：30	13：30～15：00	19：00～20：30
会場	豊岡中央交流センター 多目的ホール	豊浜交流センター 研修室 1・2・3	御厨交流センター 会議室 1
	青城交流センター 研修室 1・2	見付交流センター 大会議室・第 2 会議室	竜洋交流センター 会議室 1・2

・竜洋交流センターでは、手話通訳を実施

(2) 班編成

- ・各会場広報広聴委員 1 名以上含む 4 名が班員
- ・正副議長は 3 会場に出席（どの会場でも正・副議長のどちらかが出席）
- ・各会場準備（受付、駐車場含む）は、各班で行う。

	会場	出席議員
A	豊岡中央交流センター	増田暢之・高梨俊弘・川崎和子・高田正人・鳥居節夫
B	青城交流センター	寺田幹根・根津康広・寺田辰蔵・虫生時彦・小池和広
C	豊浜交流センター	増田暢之・絹村和弘・芥川栄人・小柳貴臣・鈴木正人
D	見付交流センター	寺田幹根・岡實・鈴木喜文・芦川和美・小栗宏之
E	御厨交流センター	増田暢之・松野正比呂・草地博昭・永田隆幸・戸塚邦彦
F	竜洋交流センター	寺田幹根・山田安邦・加藤文重・江塚学・秋山勝則

(3) 議会報告会の内容

区分	内容	時間
開会	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・議長（副議長）あいさつ ・報告会の進行説明 	3分
議会からの報告	<ul style="list-style-type: none"> ・常任委員会報告 総務 <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害発生時における市議会議員の役割等について 民生教育 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども・若者育成支援と高齢者福祉について 建設産業 <ul style="list-style-type: none"> ・駒場霊園における合葬墓の設置について 	15分
グループワーク	(1) ルールとテーマ説明 テーマ：磐田市の人口減少について 小テーマ：人口減少のイメージ 磐田市を元気にするには (2) グループワーク開始 (3) グループ発表（各グループの議員）	60分
総括	議長（副議長）が総括	3分
閉会	閉会	

2 各会場報告

議会報告会実施報告書（豊岡中央交流センター）

開催日時	平成 30 年 10 月 27 日（土） 10 時から 11 時 30 分まで	
場所	豊岡中央交流センター	
出席議員	班長	川崎和子
	班員	高梨俊弘、高田正人、鳥居節夫
	応援広報広聴委員	芥川栄人、永田隆幸、江塚学
	挨拶	増田 暢之 議長
参加人数	21 人	
経過記録	開会	10 時 00 分
	議会からの報告	10 時 05 分
	グループワーク	10 時 20 分
	・ルールとテーマ説明	
	・グループワーク	
	・発表	
	総括	11 時 20 分
	閉会	11 時 30 分
意見交換における意見等	<p><人口減少のイメージ> 税収をはじめ、地域の資源や交流、子供の数が減少してしまうことに伴う、諸課題が沢山意見として出された。また、高齢化は医療費や介護費用を増大させるなど、これまでの地域のあり方ではない、予想不可能な社会になっていく。</p> <p><磐田市を元気にするには> インフラの整備、有効な土地利用、働く場の充実、農業の発展、子育てがしやすい地域、高齢者と若者・子供が交流する、磐田市の個性が発信され、活かされるまちづくりが期待される。外国人との共生などの意見もあった。</p>	
報告会での反省、気付いた点	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ形式に戸惑いがあった方がいたので、広報の時点で、ワークショップの分かりやすい説明が必要である。 ・議会報告の質疑の時間はあったほうが良いかと感じた。 ・6会場の設定は良かったが、もう少し議員自体の報告会周知への広報が必要に思う。 ・参加者向けの報告内容の紙があったほうが良かったと思う。 	

広報広聴委員会委員長 芥川 栄人 様

平成 30 年 12 月 19 日

上記のとおり報告します

班長 川崎 和子

豊岡中央交流センター会場の様子



議会報告会実施報告書（青城交流センター）

開催日時	平成 30 年 10 月 27 日（土） 10 時から 11 時 30 分まで	
場所	青城交流センター	
出席議員	班長	根津康広
	班員	寺田辰蔵、虫生時彦、小池和広
	応援広報広聴委員	芦川和美、鈴木正人
	挨拶	寺田 幹根 副議長
参加人数	8 人	
経過記録	開会 10 時 00 分 議会からの報告 10 時 05 分 グループワーク 10 時 20 分 ・ルールとテーマ説明 ・グループワーク ・発表 総括 11 時 20 分 閉会 11 時 30 分	
意見交換における意見等	1、人口減少により税収が減り、市民サービスの低下が危惧される。また、医療、介護の問題も含め社会保障の増大により今後の財源確保が大きな課題となっている。さらに労働力が不足し外国人にたよることになり、共生・共助ができなくなる。 2、元気にするには、産・官・学の連携で経済の活性化を図り、新たな産業の創出で若者の雇用拡大を図っていく。同時に子育て環境の整備を行い、健康なまちづくりをすすめる。	
報告会での反省、気付いた点	開会直前まで参加者が見えず非常に心配された。参加者が少ないことに対する厳しい意見が寄せられ、議会報告会の環境づくりに一定の努力をする必要性を感じた。グループワークは初の試みだったが、くり返しの会話の中で交流が深まり、議員が身近に感じられたと思われる。自己紹介も雰囲気や和ませるので良かった。 今回のテーマにおいて、子育て中の若い人の意見を聞くことができず、残念だった。今後の参加の呼びかけを工夫していく必要がある。	

広報広聴委員会委員長 芥川 栄人 様
平成 30 年 12 月 19 日

上記のとおり報告します

班長 根津 康広

青城交流センター会場の様子



議会報告会実施報告書（豊浜交流センター）

開催日時	平成 30 年 10 月 27 日（土） 13 時 30 分から 15 時まで	
場所	豊浜交流センター	
出席議員	班長	鈴木正人
	班員	絹村和弘、芥川栄人、小柳貴臣
	応援広報広聴委員	川崎和子、永田隆幸
	挨拶	増田 暢之 議長
参加人数	14 人	
経過記録	開会 13 時 30 分 議会からの報告 13 時 35 分 グループワーク 13 時 50 分 ・ルールとテーマ説明 ・グループワーク ・発表 総括 14 時 50 分 閉会 15 時 00 分	
意見交換における意見等	<p>「人口減少のイメージ」とのテーマに対しては、負のイメージが強く空き家が増える。商店がつぶれる。自治会活動が困難になる。公共交通が減る。子供の減少。学校幼稚園の統廃合が心配。等</p> <p>「磐田市を元気にするには」とのテーマに対しては様々な意見がでたが前向きなものが多かったと思われる。 企業誘致。高齢者の働き場所を作る。子育てし易い環境を。若者の活躍の場を作る。磐田を好きな人を増やす。交通アクセスの向上。等</p>	
報告会での反省、気付いた点	<p>報告会参加者の中には、グループワークに慣れていないとか、グループワークである事を知らなかった、との理由で戸惑っている様子が見られた。テーマをお知らせする方法及びグループワークのやり方の再検討が必要ではと思えた。</p> <p>議会報告会からは離れてしまうが、カフェトーク等、参加者の意見を聞くのみの会もやってみたい気がする。</p>	

広報広聴委員会委員長 芥川 栄人 様
 平成 30 年 12 月 19 日

上記のとおり報告します

班長 鈴木 正人

豊浜交流センター会場の様子



議会報告会実施報告書（見付交流センター）

開催日時	平成 30 年 10 月 27 日（土） 13 時 30 分から 15 時まで	
場所	見付交流センター	
出席議員	班長	芦川和美
	班員	岡實、鈴木喜文、小栗宏之
	応援広報広聴委員	根津康広、江塚学
	挨拶	寺田 幹根 副議長
参加人数	9 人	
経過記録	開会	13 時 30 分
	議会からの報告	13 時 35 分
	グループワーク	13 時 50 分
	・ルールとテーマ説明	
	・グループワーク	
	・発表	
	総括	14 時 50 分
	閉会	15 時 00 分
意見交換における意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・調整区域に新しく家を建てられるような体制を ・空き家を安く提供する ・耕作放棄地が多い ・遊休地の大規模農地化 ・新農大と工業農産品 ・若者を正社員に ・安定・税収 ・高齢者に雇用の機会を ・子育て世代に優遇を 	
報告会での反省、気付いた点	<ul style="list-style-type: none"> ・周知不足で、参加者が少ない。 ・グループワークをすることを知らなくて躊躇された方がいた。 ・ファシリテーションの重要性を感じた。 ・地域のイベントと重なったこともあり、時間帯も考えないといけないと。 	

広報広聴委員会委員長 芥川 栄人 様

平成 30 年 12 月 19 日

上記のとおり報告します

班長 芦川 和美

見付交流センター会場の様子



議会報告会実施報告書（御厨交流センター）

開催日時	平成 30 年 10 月 27 日（土） 19 時 00 分から 20 時 30 分まで	
場所	御厨交流センター	
出席議員	班長	永田隆幸
	班員	松野正比呂、草地博昭、戸塚邦彦
	応援広報広聴委員	川崎和子、鈴木正人
	挨拶	増田 暢之 議長
参加人数	15 人	
経過記録	開会 19 時 00 分 議会からの報告 19 時 05 分 グループワーク 19 時 20 分 ・ルールとテーマ説明 ・グループワーク ・発表 総括 20 時 20 分 閉会 20 時 30 分	
意見交換における意見等	（人口減少のイメージ） ・マイナス思考 地域コミュニティの弱体化・経済が衰退していく、施設の老朽・空き家の増加等の現象が表れる。 ・プラス思考 昔に戻る、自然との共生を考えるようになる。 （磐田市を元気にするには） ・新しい産業の創出、磐田市の歴史・産業・自然等の世界への発信力の強化をする。 ・学力の向上を目指す、教育都市としてのイメージをアップさせる。 ・駅周辺の特徴あるまちづくり・農村地域での新産業の誘致を考える。	
報告会での反省、気付いた点	・他の施設に比べて会議室が、コンパクトで良かった。 ・常任委員会の報告については、簡単な資料も必要があると考えます。 ・今回の時間配分をするなら、グループワークの数は 4 グループ・6 人位が良かったと思います。	

広報広聴委員会委員長 芥川 栄人 様
平成 30 年 12 月 19 日

上記のとおり報告します

班長 永田 隆幸

御厨交流センター会場の様子



議会報告会実施報告書（竜洋交流センター）

開催日時	平成 30 年 10 月 27 日（土） 19 時 00 分から 20 時 30 分まで	
場所	竜洋交流センター	
出席議員	班長	江塚学
	班員	山田安邦、加藤文重、秋山勝則
	応援広報広聴委員	根津康広、芥川栄人、芦川和美
	挨拶	寺田 幹根 副議長
参加人数	16 人	
経過記録	開会 19 時 00 分 議会からの報告 19 時 05 分 グループワーク 19 時 20 分 ・ルールとテーマ説明 ・グループワーク ・発表 総括 20 時 20 分 閉会 20 時 30 分	
意見交換における意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・設問 1 「イメージ」では、行政サービスが良くなる、病院の待ち時間の短縮、交通渋滞が減ることや待機児童が減るなどプラス思考の意見。一方で街の衰退により店が減り活気が無くなり、人が離れていく。生産世代の減少により市の税収が減り、行政サービスの低下、交通機関の衰退や公共料金の値上げになるなどマイナス思考が大半を占めた。 ・設問 2 「元気」では、若者が行く店を増やす、若者の意見を聞く。企業誘致、退職後の活躍の場を増やす、コンパクトシティ、観光の強化、文化的にイベントの充実、教育への投資など建設的な意見が上がった。 	
報告会での反省、気付いた点	<ul style="list-style-type: none"> ・今回初めてとなる、グループワークが行われた。各グループが活発で多彩な意見を貰え成功と言えるのではないかな。 ・各会場に、もっと多くの市民の方に来てもらえるように広報や開催時間等考える必要があるのではないかな。 ・議員の各会場での人数は適宜であったと思うし、昨年より 3 会場分多く開催できよかったと思う。 	

広報広聴委員会委員長 芥川 栄人 様

平成 30 年 12 月 19 日

上記のとおり報告します

班長 江塚 学

竜洋交流センター会場の様子



3 グループワーク意見

(1) 意見集約

①人口減少のイメージ

分類	内容の一部	全 458 件	
		件数	割合
まちの閑散化	<ul style="list-style-type: none"> ○商店街のシャッターが目立つ ○つまらない町になる ○街に活気がなくなる ○行政サービスの良い街に集まる ○人が外を歩いていない ○磐田市の発展がにぶくなる ○人が集まらない ○イベント等少なくなる ○ゴーストタウン、古い団地 ○魅力のない街は維持が困難 ○静かな商店街 	56	12.2%
高齢者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○イコール高齢社会化 ○老老介護 ○孤独死 ○介護離職 ○高齢ろうあ者の介護 ○医療費増・介護費用増 ○高齢者は健康が大事。健康寿命長く ○年金の負担減⇒年金額の減 ○高齢者が市外にいる家族の元へ行く 	44	9.6%
地域コミュニティの低下	<ul style="list-style-type: none"> ○住民同士の会話・交流がなくなる ○地域の過疎化 ○子供の減少から地域での子ども会がなくなる ○自治会役員をしてくれる人がいない ○災害時の共助ができかねる ○祭典ができなくなる ○ろうあ者も町内会役員を引き受ける ○地域のまとまりに期待 ○自治会も高齢化で消滅してしまう 	44	9.6%
子どもの減少	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが居なくなる ○出産率が低い ○子どもが減ると活気がなくなる ○子どもの声が聞こえない ○晩婚化による少子化・子どもゼロ、家族の増加 ○子どもを作ることに希望がない ○待機児童は減る ○子ども本当に育てにくい？ 	39	8.5%

分類	内容の一部	全 458 件	
		件数	割合
生産力低下	<ul style="list-style-type: none"> ○労働力が減った ○企業が海外に販路を ○地域産業・経済の縮小 ○産業を担う人材が減る ○中小企業経営難 ○企業は人手不足で生産ができない ○国力が衰退 	36	7.9%
価値観の変容	<ul style="list-style-type: none"> ○若者の結婚観、減少進んだ ○世の中便利になり過ぎて結婚しなくても困らない ○男性・女性共に良い物ねだり ○意識を変える必要 ○核家族が増えている ○人生観や家族観の問題で単純な費用面の支援では解決できない 	32	7.0%
空き家の問題	<ul style="list-style-type: none"> ○空家・空き店舗が多くなる ○空家が活用されていない ○昔の家がたくさん残ってしまう 	28	6.1%
財政の悪化	<ul style="list-style-type: none"> ○インフラ整備が停滞する ○税収が少なくなる ○税金が高くなる ○世代間の保障費を受けるバランスがくずれる ○生産世代の負担増 ○市債の増加 	28	6.1%
若者の減少	<ul style="list-style-type: none"> ○若い世代が地元に残らない ○若者不在、明るさ消える ○若い人達の将来不安、厳しい生活 ○さらに結婚できなくなる ○若い人達の安定した生活作り ○後継者がいない 	28	6.1%
学校の減少	<ul style="list-style-type: none"> ○学校・幼稚園が合併又は廃止される ○地域の教育、中学校の存在があぶない ○学校減少、教育が行きとどかない ○学校が静か 	18	3.9%
行政サービスの低下	<ul style="list-style-type: none"> ○税収が減り、市民サービスが低下 ○災害時助けにこない ○水道・下水道が維持できるかな 	17	3.7%
公共交通サービスの低下	<ul style="list-style-type: none"> ○買物弱者対策 ○バスの回数どんどん減って心配 ○交通渋滞が減る 	15	3.3%
利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ○全てに空間が増える ○満員電車がなくなる 	11	2.4%

分類	内容の一部	全 458 件	
		件数	割合
都市整備	○駅や大きなスーパーなどに家を求める人が増える	7	1.5%
治安悪化	○犯罪の増加	5	1.1%
農業の衰退	○耕作放棄 → 土地が荒れる	5	1.1%
文化の衰退	○知識人の不在化	5	1.1%
環境破壊	○野山のジャングル	4	0.9%
教育内容の変化	○教育の質が心配	4	0.9%
市の魅力改善	○ブランド化されているものがない	3	0.7%
精神面の不安	○すべて縮小化が感じられる世の中	3	0.7%
多文化共生の必要性	○外国人の支援が増える	3	0.7%
男女共同参画	○男女平等	1	0.2%
福祉サービス減少	○手話通訳が減少	1	0.2%
その他	○日本は減、世界的には増 ○昔と比べればまだ多い(100年前とか) ○競い合いが少なくなる	21	4.6%

②磐田市を元気にするには

分類	内容の一部	全 505 件	
		件数	割合
地域活動の活性化	○各団体の育成・支援が重要 ○各自治会にアドバイザーを派遣する ○ボランティア活動の推進 ○地域行事を見直す ○楽しい集合場所を増やす。 ○井戸端会議を復活 ○助け合い活動の推進(誘い合い) ○他の地域との交流を深める ○地域と行政との協働 ○福祉制度から地域の支えあいへ ○地域の子どものふれあいの機会を作る(趣味) ○子どもと高齢者の交流 ○地域で子どもを育てる考えの推進	64	12.7%
子育て環境の整備	○働きやすい環境づくり、住・子育て ○子どもが安心して育てられる街 ○3人目以降給付金3倍 ○子育て支援と親育ては同時にする ○子育て支援の充実により若者人口を増やす ○児童館をつくる	32	6.3%

分類	内容の一部	全 505 件	
		件数	割合
企業誘致	<ul style="list-style-type: none"> ○優良企業の誘致 ○若者の働く場所の確保 ○新しい分野のIT. AIの企業誘致 ○クラウドワーク SOHO を磐田で ○潮力発電 ○海岸地域に企業を 	28	5.5%
市のPR促進	<ul style="list-style-type: none"> ○大都市へアンテナショップ ○映画・テレビのロケ誘致 ○雪が降らない事をアピール ○とにかくPR！ 磐田病院、えびいも等 ○磐田を好きな人を増やす 	27	5.3%
スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ(サッカー・ラグビーなど)人を集める努力 ○昔あった体育大会の復活 ○学校の授業で水谷さんに卓球を教えてもらう ○市全体、住民参加型イベントを増やす ○10万人のスタジアムを 	25	5.0%
高齢者支援	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者のボランティア活動推進 ○退職後の人達の活躍の場を増やす ○高齢者が楽しめる街 ○高齢者を元気にする健康ウォーキングなど取り組み ○高齢者の有効活用(知恵と経験を活かす) 	24	4.8%
市民の意識改革	<ul style="list-style-type: none"> ○お互いのあいさつ運動 ○思いやり心 ○自立した市民の育成 ○型破りな発想と行動を受け入れる事も必要 ○自分たちで、自分たちのまちを創っていく 	24	4.8%
イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> ○”わくわく”する様なイベントを地域の若者が企画実行 ○老若男女の意見発表会などの開催 ○三世代の交流会 ○軽トラ市などのもようしを各地域で活発に 	18	3.6%
健康の増進	<ul style="list-style-type: none"> ○健康社会をつくる ○健康増加→ポイント制 ○みんな身体や頭が元気でいれる事をやっていく 	17	3.4%
労働環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○共働きできる環境づくり ○起業家が生まれる環境づくり ○母親が働きやすい地域にする 	17	3.4%
新規店舗の招致	<ul style="list-style-type: none"> ○気軽に立ち寄れるカフェ増やす ○アミューズメント施設作る ○飲み屋街・買い物街を 	14	2.8%
まちづくり計画の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○若い人達や子供達が関心を持てる計画を出す ○明るい未来づくり ○市長の思い切った改革とバランス 	14	2.8%

分類	内容の一部	全 505 件	
		件数	割合
移住・定住の促進	○定住する魅力をつくる ○移住者への補助	12	2.4%
公園等公共施設の整備	○素敵な公園が欲しい(総合) ○ハイキングコースの整備	12	2.4%
観光振興	○観光産業の育成 ○磐田ならではの体験できる場所づくり	11	2.2%
教育の充実	○学校・保育所等の教育への投資 ○子ども同志の交流の場(小学校)	11	2.2%
多文化との共生	○磐田で働き、住んでいる外国人を地域の中に取り込む ○外国文化と調和、融合	11	2.2%
農業振興	○地産地消の農業を拡大する ○新農大と工業農産品へ	10	2.0%
若者の活動支援	○若者が集まる場所を提供 ○若い中・高生の夢を集める	10	2.0%
ジュビロの活躍	○ジュビロ磐田が優勝する ○ジュビロはサッカー・ラグビー頑張る	9	1.8%
文化の高揚	○芸術の市 ○歴史を知ろう	9	1.8%
地元企業の成長	○地元雇用を優先する ○中小企業の強化	8	1.6%
土地活用の充実	○有休土地の活用 ○調整区域の手続きの簡素化	8	1.6%
環境美化	○環境の良い町で宣伝	7	1.4%
公共交通の充実	○公共交通の自動運転	7	1.4%
異業種間の連携	○幼稚園と老人ホームを一つの建物にしみんなで仲良く	6	1.2%
家計負担の軽減	○医療費の無料化	6	1.2%
駅前の活性化	○市外通勤者へ駅の駐車場の無料化	5	1.0%
道路の整備	○新駅完成しても 150 号までの道路が	5	1.0%
文化施設の建設	○芸術家が集まる場所を作る	5	1.0%
魅力の創出	○特長を掘り起こす	5	1.0%
財政健全化	○市民サービス選択と集中	4	0.8%
障がい者支援	○手話通訳者の養成	4	0.8%
交通の変革	○自転車のまち(車のかわり)	3	0.6%
高等教育機関の招致	○若者を増やす学園都市化	3	0.6%
婚活支援	○若者が結婚し易い環境をつくる	3	0.6%
人口の増加		3	0.6%
新産業の活用	○AI の活用・自動化	3	0.6%
都市化への整備	○東京化・都市化・病院学校など	3	0.6%
防災対応	○災害に強い	3	0.6%

分類	内容の一部	全 505 件	
		件数	割合
空き家活用	○空き家を安く提供する	2	0.4%
収納率の向上	○税金の前納制の促進	2	0.4%
治安向上	○安全・安心のまちづくり	2	0.4%
議員の資質向上		1	0.2%
市職員の資質向上		1	0.2%
その他	○多世代支援	7	1.4%

(2) 所管別分類

所管課	イメージ(@458)		元気(@505)	
	件数	割合	件数	割合
地域づくり応援課	72	15.7%	87	17.2%
産業政策課	43	9.4%	42	8.3%
福祉課	38	8.3%	24	4.8%
建築住宅課	30	6.6%	3	0.6%
都市整備課	27	5.9%	41	8.1%
秘書政策課	27	5.9%	22	4.4%
教育総務課	24	5.2%	11	2.2%
財政課	15	3.3%	5	1.0%
市税課	15	3.3%	4	0.8%
子育て支援課	11	2.4%	27	5.3%
農林水産課	5	1.1%	10	2.0%
道路河川課	4	0.9%	4	0.8%
病院総務課	3	0.7%	1	0.2%
文化振興課	3	0.7%	13	2.6%
広報・広聴シティプロモーション課	2	0.4%	24	4.8%
水道課	2	0.4%	0	0.0%
幼稚園保育園課	2	0.4%	4	0.8%
環境課	1	0.2%	7	1.4%
危機管理課	1	0.2%	4	0.8%
スポーツ振興課	1	0.2%	24	4.8%
中央図書館	1	0.2%	0	0.0%
文化財課	1	0.2%	2	0.4%
議会事務局	0	0.0%	1	0.2%
健康増進課	0	0.0%	22	4.4%
商工観光課	0	0.0%	24	4.8%
情報政策課	0	0.0%	1	0.2%
職員課	0	0.0%	1	0.2%
納税課	0	0.0%	1	0.2%
その他	130	28.4%	96	19.0%

所管部	イメージ(@458)		元気(@505)	
	件数	割合	件数	割合
総務部	2	0.4%	6	1.2%
企画部	67	14.6%	65	12.9%
自治市民部	76	16.6%	124	24.6%
健康福祉部	38	8.3%	46	9.1%
こども部	13	2.8%	31	6.1%
教育部	26	5.7%	13	2.6%
病院事業部	3	0.7%	1	0.2%
産業部	50	10.9%	83	16.4%
建設部	61	13.3%	48	9.5%
環境水道部	3	0.7%	7	1.4%
議会事務局	0	0.0%	1	0.2%
その他	119	26.0%	80	15.8%

所管委員会	イメージ(@458)		元気(@505)	
	件数	割合	件数	割合
総務委員会	145	31.7%	195	38.6%
民生教育委員会	80	17.5%	91	18.0%
建設産業委員会	114	24.9%	138	27.3%
議会事務局	0	0.0%	1	0.2%
その他	119	26.0%	80	15.8%

(3) 総括

①「人口減少のイメージ」についての総括

- ・意見の数は、まちが閑散化するイメージが最も多く、次いで高齢化の問題がイメージされている。その2つと絡んで地域コミュニティが低下するイメージとなっている。
- ・全体的にマイナスのイメージが多い傾向にあったが、利便性が向上するなどといったプラスのイメージもあった。

②「磐田市を元気にするには」についての総括

- ・意見の数は、地域活動の活性化が最も多く、次いで、子育て環境の整備や企業誘致、市のPR促進と続き、スポーツの振興という磐田市らしい活性化のための意見が出ている。
- ・参加者の年齢層が、60代と70代で約7割を占めているが、意見の数としては、子育て環境の整備や企業誘致など、若者のための支援が多く出された。

③行政の所管別に分類し、見えた内容

- ・意見の数は、人口減少のイメージ及び元気にする意見の双方とも、地域づくり応援課が最も多く、次いで産業政策課、福祉課となっている。
- ・人口減少のイメージで、意見が多く出た分野が、元気にする意見として多くあがっている分野がある。しかし逆に、イメージでは意見が多いが、元気にする意見では少ないところもある。そのまた逆に、元気にする意見では多いが、イメージでは少ないところあり、人口減少と磐田市の活性化に必要な方策は、かならずしも一致してはいない。
- ・行政の所管別で意見を分類したなかで、その他に分類されているものは、市民の意識改革や若者の活躍支援となっている。行政として対応する必要があると思われる分野も含まれている。

④全体としての特徴・総括

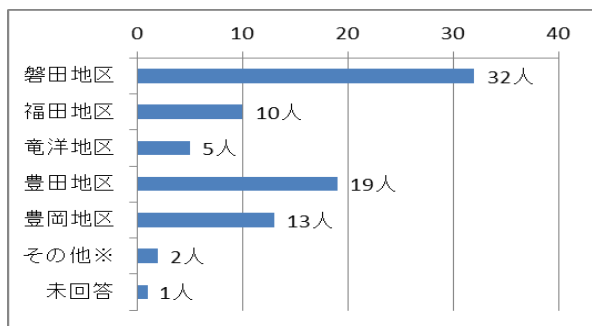
- ・今年度初めてグループワークを行い、市民との直接的な意見交換を行うことで、今までの議会報告会では聞くことが少なかった少数の意見や考えを触れることができた。それにより、参加者の中で、考えの多様性を理解し、お互いに課題を共有することができ、参加者も議員も一定程度の満足感に繋がったと考えられる。
- ・例年の2倍の市内6会場で開催したが、参加者は全体的に例年より減少した。これは自治会連合会をはじめ、特定の方に参加を依頼するのではなく、一般的な広報活動のみで募集した結果であった。参加者の募集方法や議会報告会の内容の修正については検討が必要と考える。
- ・課題設定は、総論的な課題を設定した。これは現在の磐田市の課題でありつつ、日本全体での課題でもあるため、誰もが参加しやすい課題設定で、多くの参加者から意見を伺えた。しかし、行政組織別常任委員会など、磐田市の課題に対して、分野を分けて行い、磐田市に特化するといった手法を検討するのもよいと考える。
- ・例年通りの議会報告会と思い、グループワークに戸惑う方も見られたが、会の終了後には一定の満足度を得ていた。広報での告知等市民にしっかり認知される方法が必要と考える。
- ・今年度の議会報告会は、グループワークに重点を置き、先進地の事例に倣い、報告内容を簡略化したが、手元の資料がなく、わかりにくいという意見があった。議会報告会としてのあり方として、議会からの報告時期や報告内容、資料提供の仕方など、市民にわかりやすく必要な情報提供を行う方法を検討していく。

4 アンケート集計結果

※参加総数 83 人のうち、82 人の方に御回答いただきました。

問1 お住まいの地区

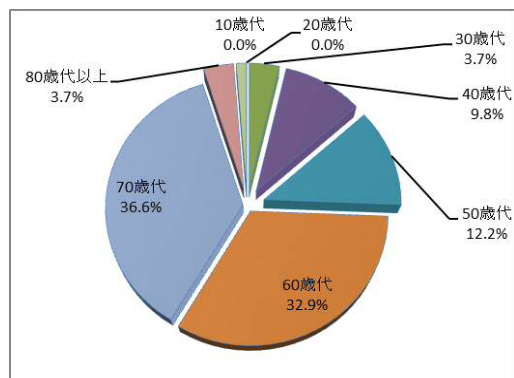
分類	豊岡中央	青城	豊浜	見付	御厨	竜洋	計
磐田地区	2	0	3	8	13	6	32
福田地区	0	0	10	0	0	0	10
竜洋地区	0	1	0	0	0	4	5
豊田地区	4	7	0	1	1	6	19
豊岡地区	13	0	0	0	0	0	13
その他※	1	0	0	0	1	0	2
未回答	1	0	0	0	0	0	1
計	21	8	13	9	15	16	82



※その他2名は、浜松市・袋井市

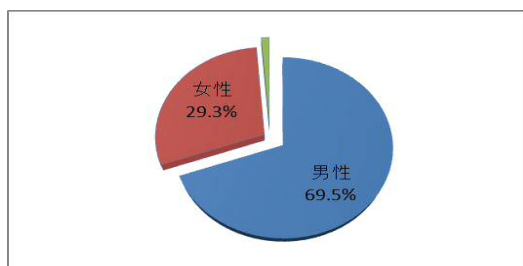
問2 年齢

分類	豊岡中央	青城	豊浜	見付	御厨	竜洋	計
10歳代	0	0	0	0	0	0	0
20歳代	0	0	0	0	0	0	0
30歳代	0	0	0	0	1	2	3
40歳代	2	0	2	0	0	4	8
50歳代	3	2	1	0	0	4	10
60歳代	4	1	5	6	8	3	27
70歳代	10	5	5	2	6	2	30
80歳代以上	1	0	0	1	0	1	3
未回答	1	0	0	0	0	0	1
計	21	8	13	9	15	16	82



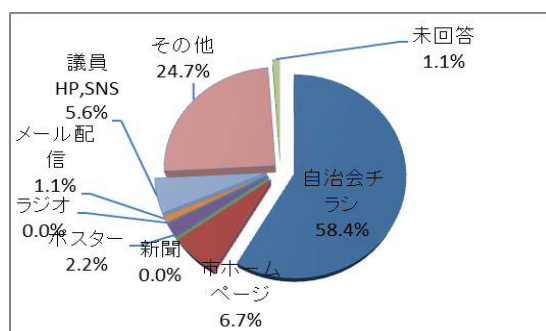
問3 性別

分類	豊岡中央	青城	豊浜	見付	御厨	竜洋	計
男性	14	8	11	3	13	8	57
女性	6	0	2	6	2	8	24
未回答	1	0	0	0	0	0	1
計	21	8	13	9	15	16	82



問4 報告会を知った方法（複数回答）

分類	豊岡中央	青城	豊浜	見付	御厨	竜洋	計
自治会チラシ	16	6	12	3	11	4	52
市ホームページ	1	0	0	0	2	3	6
新聞	0	0	0	0	0	0	0
ポスター	0	1	0	0	1	0	2
ラジオ	0	0	0	0	0	0	0
メール配信	0	0	0	0	1	0	1
議員 HP, SNS	1	0	2	0	0	2	5
その他	3	1	1	7	1	9	22
未回答	1	0	0	0	0	0	1
計	22	8	15	10	16	18	89



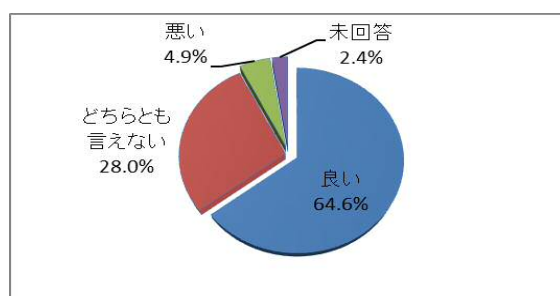
その他の意見（記述）

静岡退職女性教職員の取り組み×7人
新聞広告に案内あり
地区長への案内
文化展に参加し当日交流センターにて
自治会役員スケジュール
ろうあ協会より×2人
手話サークル磐友会×3人
知人より

問5 議会報告会について

(1) 開催日時

分類	豊岡中央	青城	豊浜	見付	御厨	竜洋	計
良い	13	5	9	4	10	12	53
どちらとも言えない	7	2	4	3	3	4	23
悪い	0	1	0	2	1	0	4
未回答	1	0	0	0	1	0	2
計	21	8	13	9	15	16	82



希望時期（記述）

同じ日での開催より日をずらした設定もほしい

鎌田地区は祭典後の「タスキ脱ぎ」とバッティングしたので、もう少し各地区のスケジュールを認識してほしい

文化展と重なっているから

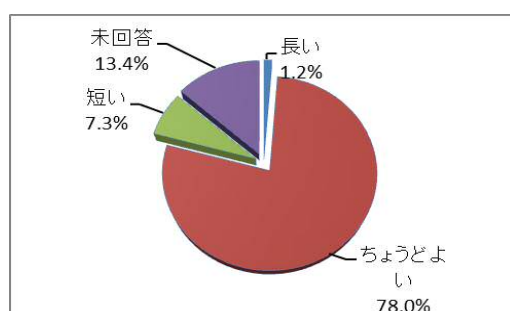
見付の行事と重ならないほうがよい

多くの市民が参加できるタイミングで

各地での催しが重なっており出欠確認なしでは少数は当然

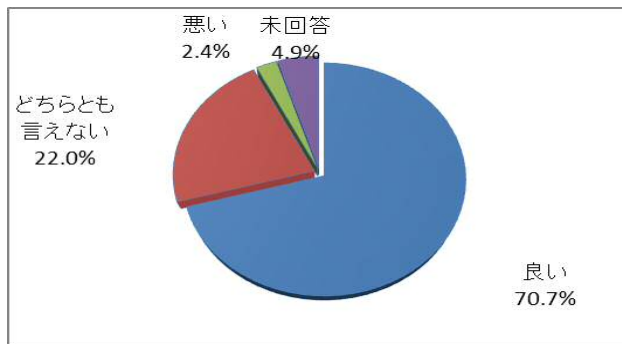
(2) 報告会全体の時間

分類	豊岡中央	青城	豊浜	見付	御厨	竜洋	計
長い	0	0	0	0	0	1	1
ちょうどよい	16	7	11	8	9	13	64
短い	3	0	0	0	2	1	6
未回答	2	1	2	1	4	1	11
計	21	8	13	9	15	16	82



(3) 報告会の開催場所

分類	豊岡中央	青城	豊浜	見付	御厨	竜洋	計
良い	17	7	10	5	10	9	58
どちらとも言えない	3	1	2	2	4	6	18
悪い	0	0	0	2	0	0	2
未回答	1	0	1	0	1	1	4
計	21	8	13	9	15	16	82

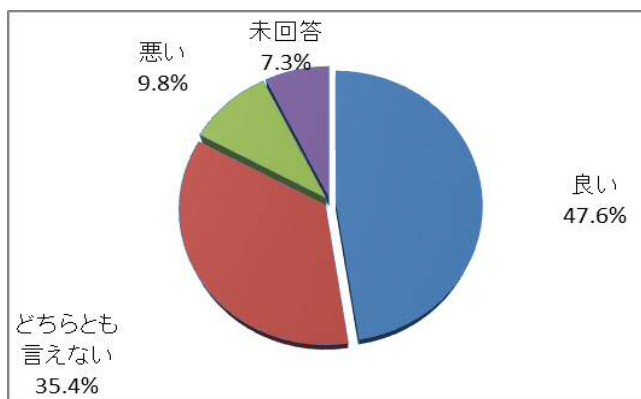


希望場所（記述）

中泉地区でも開催して欲しい
駐車場の数が心配

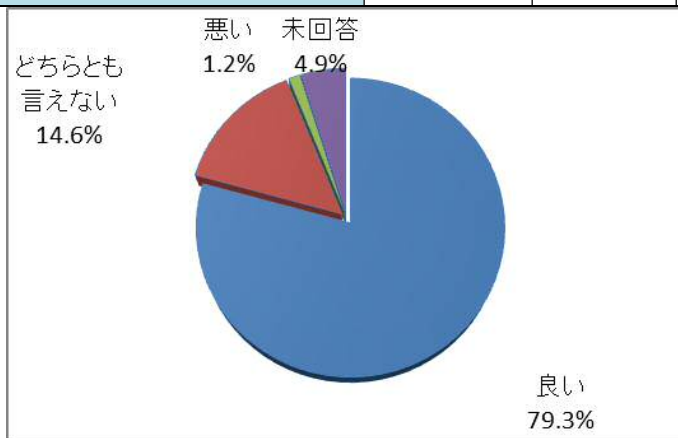
(4) 議会からの活動報告について

分類	豊岡中央	青城	豊浜	見付	御厨	竜洋	計
良い	8	5	5	5	6	10	39
どちらとも言えない	8	1	7	4	4	5	29
悪い	1	2	1	0	3	1	8
未回答	4	0	0	0	2	0	6
計	21	8	13	9	15	16	82



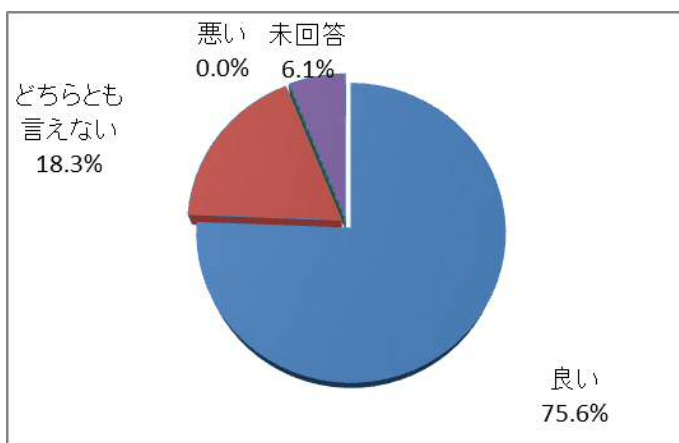
(5) グループワークについて (テーマ)

分類	豊岡中央	青城	豊浜	見付	御厨	竜洋	計
良い	16	7	9	8	11	14	65
どちらとも言えない	3	1	4	0	2	2	12
悪い	1	0	0	0	0	0	1
未回答	1	0	0	1	2	0	4
計	21	8	13	9	15	16	82



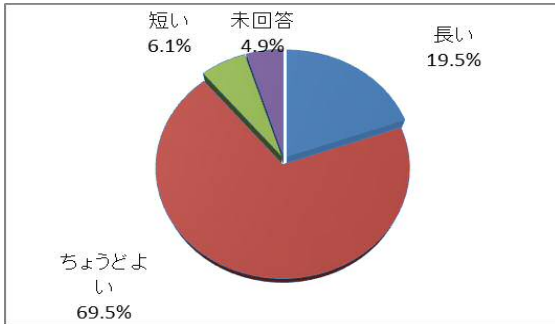
(6) グループワークについて (内容)

分類	豊岡中央	青城	豊浜	見付	御厨	竜洋	計
良い	15	6	7	9	10	15	62
どちらとも言えない	4	1	6	0	3	1	15
悪い	0	0	0	0	0	0	0
未回答	2	1	0	0	2	0	5
計	21	8	13	9	15	16	82



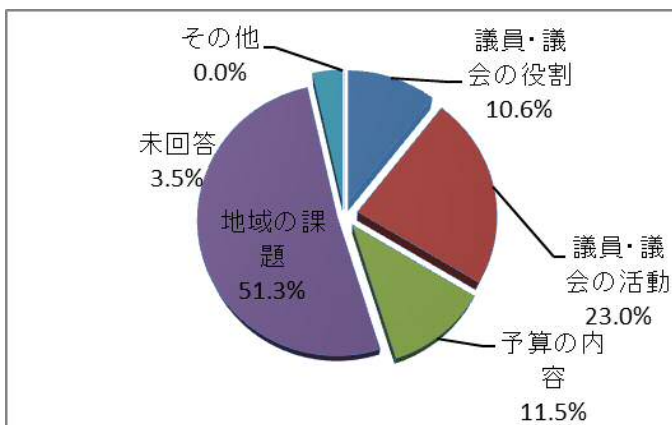
(7) グループワークについて (時間)

分類	豊岡中央	青城	豊浜	見付	御厨	竜洋	計
長い	2	1	2	3	4	4	16
ちょうどよい	15	7	11	6	8	10	57
短い	2	0	0	0	1	2	5
未回答	2	0	0	0	2	0	4
計	21	8	13	9	15	16	82



(8) 今後の報告会でテーマにしてほしいこと (複数回答)

分類	豊岡中央	青城	豊浜	見付	御厨	竜洋	計
議員・議会の役割	2	4	2	0	2	2	12
議員・議会の活動	5	2	6	2	5	6	26
予算の内容	4	0	1	5	1	2	13
地域の課題	11	5	11	6	10	15	58
未回答	1	0	0	1	2	0	4
その他	0	0	0	0	0	0	0
計	23	11	20	14	20	25	113



その他の意見 (記述)
予算の内容 ; どこでどう使われているのか見えない
質疑応答

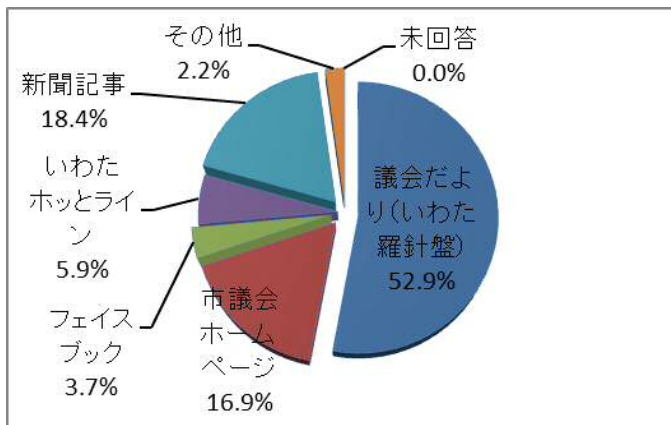
(5) 議会報告会の感想、ご意見

豊岡
グループワークをしに来た訳ではないのでとまどった。アイスブレイク程度のレクリエーションは良いけれど全体としては今までの方が良いと思う。もっと報告や質問を聞きたい。ただ、参加者全てに意見を出す機会を作るにはグループワークでよいのかも。
本論に時間をかけたいため、もう少し短くして下さい。アンケートを書く時間をとって下さい。もう少し深く話し合えるようなファシリテーターが必要です。
グループワークは楽しい
意見を述べる時間が欲しい
最近の動向、報告を聞くことが出来た
報告会としては報告内容がもう少し充実していただいたほうが良いと思いました。(今回の内容でしたら市民と議会のワークショップと云う名称の方が良かったとも思いました。それでしたら十分良い内容だったと感じました。
磐田市活性化についてのグループワーク、有意義でした。初めての参加でしたので市議会報告についてもう少し議員に質疑応答があればと感じました。
青城
私儀、勝手ですが難聴のため各議員さんが当初発言された内容の概要を文書にして配布して下さいれば良いと思います。
出席者の動員方法を検討が必要。各自治会に割り当てとする。
開催日時；多くの市民が参加できるタイミングで 全体の時間；中身によりけり 活動報告；特に必要ありません。本題に集中すべきです グループワーク；市民がもっと参加できるほうが良い
議会からの活動報告の資料・パワーポイントが欲しい
参加者を多くする工夫が必要
とても良い
豊浜
今回の新しい試みは良かったと思う
報告会にて発表された意見が今後どの様に取り入れて協議されるのか
議員さんの仕事ぶりに感謝します
議会からの活動報告をもう少し詳しくやって欲しい。物足りなかった
3つの委員会報告では、いま力を入れている内容をメモ程度の印刷物がほしい
報告会の方が良い。もう少し参加者があった方が良かった
参加型の内容で良かったと思います
見付
まさかこんな少数とは、横の方で聞いているつもりだった
議会からの活動報告は、聞いておしまいで記録が取れない。何らかの文書が欲しい
グループワーク；考える時間がほしい、そのつもりなら少しはまとめてくるかと
口答説明のみなので資料があると解かり易い
早口(全体的)なのでメモが取り難い・時間の制約？
議会からの活動報告；内容のプリントとかスクリーンなど映像など視覚的の物が無いとわかりにくかった

もっと気楽に読める議会報告も作って見たらどうか
現在課題になっている内容を説明してくれるとうれしいです 活動報告；もう少し詳しくできるとよい
活動報告；もう少し詳しくしてもよい
御厨
「議会報告会」のスタイル；グループワークも面白かったが議会の議題や問題をもっと話したかった
報告の部がもう少しあってもよいのでは（ex；報告1時間・休憩5～10分・ワーク1時間弱） 3委員会からの報告がある点はよいが、少なすぎる印象。テーマに対して深掘りしている内容を充実させてほしい。 グループワーク；今回はこれでOK！次回は片方はもう少しテーマをしぼってもよいかも 参加人数が少ない
活動報告が短い
今回は第7回になるのかと思います。市民からの意見を聞き放し、事務局が実施報告書を作成してそれを議長が市長に提出しておしまいという印象でした。2元代表制としては？市民から出た意見に対する回答をするのが本来の筋であろうと常々1年経って感じています。
議会、議員活動が身近に感じ、共に考えていくことが大切であると共感した
建設産業委員会の報告で、竜洋駒場の合葬墓地の報告のみに終始したが、他のテーマ等の報告も期待した。（例；橋梁の耐震性について等）
竜洋
活動報告；パワーポイントや資料を作成して開くだけでなく目に見える報告がほしい・・・説明が棒読みで説得力がない
テーマとして難しいと感じたが皆さんの意見を伺いいろんな考えがあり参考になりました
今回の様なグループワークならば、参加者全員の意見が聞け交流もできる。よかったです 他の地域で出た意見がどのようなものだったのか知りたかった。グループワークはよかったが、だからどう進めていくのかが大切だと思う。グループワークをするには時間が短かった
人口減少の未来に灯がついた集会でした！
初めて出席しましたがグループワークで様々な年代・職種の人たちと意見を出し合うことに面白さを感じました。初の試みとのことでしたが来年もグループワークを実施してほしいです。あと議会報告の資料がないので説明内容の理解に若干苦しかったです
皆さん色々な分野で活動されている方だったので面白い考え方など聞けてとても楽しい時間でした
将来のビジョン
竜洋公民館の将来・道路が整備されつつある飯高橋（天竜川）への期待
分散会形式を取り入れて参加型の報告会であったことは大変よかった
活動報告；短い、内容をもう一步

問6 市議会の活動について、情報を得る手段(複数回答)

分類	豊岡中央	青城	豊浜	見付	御厨	竜洋	計
議会だより(いわた羅針盤)	18	8	13	9	13	11	72
市議会ホームページ	5	4	3	3	4	4	23
フェイスブック	1	1	0	0	0	3	5
いわたホットライン	1	2	1	0	2	2	8
新聞記事	4	4	3	5	7	2	25
その他	0	1	0	0	0	2	3
未回答	0	0	0	0	0	0	0
計	29	20	20	17	26	24	136



その他の意見(記述)

自治会会合
議員さんの後援会活動にて文書配布を受けて

問7 議会だより(いわた羅針盤)についての意見

意見(記述)

高齢者に関する取り組み、シニアを元気にさせる行政指導をお願いしたい。
各議員さんの苦勞話(極めて常識的)を簡単に説明していただければと思います。(例えば、本日の報告会AMの部が終わって2時間後に次の会場へ参加して準備をしなければならない方が数人、青城センターでの報告会の支援(会場の案内・写真撮影等)をされています。
地域の課題と市の取り組みについて
細かな字が紙面一杯では読む気も失せる
非常に読み易くなりました
地域に密着した内容
子育て支援に関するもの
議案に対して、どの議員が賛否を表明したかの一覧表は必須に思います
各地を視察して議員としてどう思いどのようにしていきたいか
活動報告や経過だけではない内容
今出した内容をポイントを出して提示していけるといいのではないかと?

問8 市議会が取り組んでほしいこと

意見（記述）
短中長期ビジョンの確立を図る
地域差が出ないように進められるための活動をして欲しい
50～100年後の未来を書いてみてください。
45～46軒と小さな区に所属していますが、70才以上でも32～3人いると思われる恒常的に老人会（シニアクラブ）活動に参加しても良いと思う人が約1/2しかいません。60才以上は誰でも活動に参加できるはずで、区の会合にもっと多く参加して頂き、シニアクラブの活動活性化を進めて頂きたいと思ひます。
市民の声を市政に反映させてください
住民の要望を積極的に取り入れ解決してほしい
議題をみていて市長提案のみとなっている。 議員提案があることを望みたい。（議員同志の真摯な討議が必要）
地域の意見をすいあげ声にして、よりよい方向にもっていけるように活動してほしい
今回の様な場を広く多く開催してもらいたい。一緒に磐田を考えていくことが大切だと思う（選挙の時だけでなく共に頑張りましょう）
災害ボランティアに対する支援がもう少し有ると行きやすくなる。これからはもっと自然災害が増えてくると思われるので考えてほしい
手話言語条例制定の後に具体案がどの様に決まていくのか期待しています
このような形での話し合ひは垣根が低く話しやすかった。議員さんの人柄に触れ身近に感じた。良かったです
市民の意見を参考により良い磐田市にしてほしいです
3年前に結婚したのを機に生まれ育った浜松市から磐田市に移ってきて初めて市議会報告会に出席しました。浜松市では市議会報告会と云うものがなかった(多分・・・)だけに今後も継続してほしいです
市内企業への手話理解やろう者への配慮など
活気に満ちた自由な空気を大切にしてほしい
あまりにも参加者が少なくてびっくりしました 具体的にどんな働きかけをしたのでしょうか。各組織へ参加要請をした方がよかったのでは
市民にマイナスの情報をもっと伝えてほしい

5 参考資料
 (1) チラシ

磐田市議会

議会報告会



©磐田市

開催日 平成30年10月27日(土)

時間	会場(住所・電話)	出席予定議員
午前10時00分 ～ 11時30分	豊岡中央交流センター (老貫地76番地5・0539-62-9130)	増田暢之・高梨俊弘・川崎和子 ・高田正人・鳥居節夫
	青城交流センター (立野156番地・35-9311)	寺田幹根・根津康広・寺田辰蔵 ・虫生時彦・小池和広
午後 1時30分 ～ 3時00分	豊浜交流センター (豊浜2921番地1・30-6628)	増田暢之・絹村和弘・芥川栄人 ・小柳貴臣・鈴木正人
	見付交流センター (見付2385番地10・32-0322)	寺田幹根・岡寛・鈴木喜文 ・芦川和美・小栗宏之
午後 7時00分 ～ 8時30分	御厨交流センター (鎌田1876番地・32-3050)	増田暢之・松野正比呂・草地博昭 ・永田隆幸・戸塚邦彦
	竜洋交流センター (岡783番地1・66-9130)	寺田幹根・山田安邦・加藤文重 ・江塚学・秋山勝則

- どの会場でも報告やグループワークの内容は同じですので、どなたでもご自由にご参加ください(学生や乳幼児も同席できます)。
- 今回は、グループワークを行います。グループワークでは、参加者と議員がグループに入り、テーマに沿って自由意見を出し合う形式になります。
- テーマは、「磐田市の人口減少について」です。

台風等荒天の場合は開催を中止します。中止のときは、市議会ホームページやいわたホットラインでお知らせします。



主催 磐田市議会 問い合わせ 議会事務局
 電話 (0538) 37-4822 ファックス (0538) 37-4845
 メールアドレス gikai@city.iwata.lg.jp

会場案内図

台風等荒天の場合は開催を中止します。
中止のときは、市議会ホームページや
いわたホットラインでお知らせします。

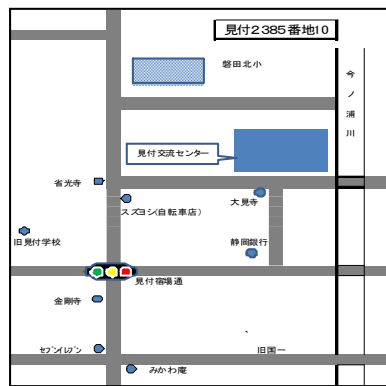
豊岡中央交流センター (午前10時～)

青城交流センター



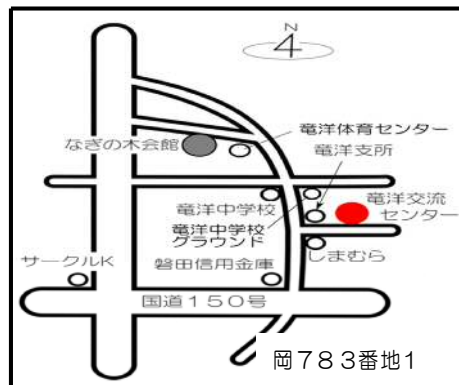
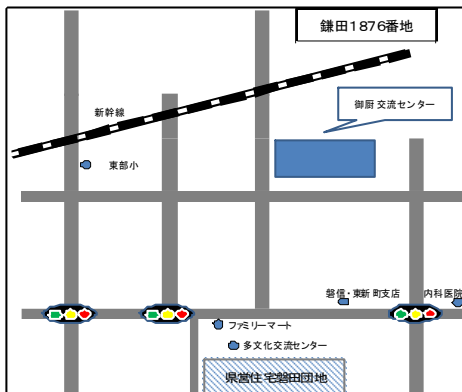
豊浜交流センター (午後1時30分～)

見付交流センター



御厨交流センター (午後7時～)

竜洋交流センター



(2) アンケート

議会報告会アンケート

議会報告会にご参加いただきまして、ありがとうございます。今後の議会活動、議会報告会の参考にさせていただきますので、アンケートにご協力ください。

該当するものに○をつけていただくか、〔 〕内にご記入ください。

1 お住まいの地区

(磐田地区・福田地区・竜洋地区・豊田地区・豊岡地区・その他〔 市・町〕)

2 年齢

(10 歳代 ・ 20 歳代 ・ 30 歳代 ・ 40 歳代 ・ 50 歳代 ・ 60 歳代 ・ 70 歳代 ・ 80 歳代以上)

3 性別

(男性 ・ 女性)

4 報告会を知った方法

(1) 自治会回覧 (2) 市ホームページ (3) 新聞 (4) ポスター (5) ラジオ
(6) メール配信サービス「いわたホットライン」 (7) 議員のホームページ、SNS 等
(8) その他〔 〕

5 議会報告会について

・開催日時

(1) 良い (2) どちらとも言えない (3) 悪い

※ (3) を選んだ方は、ご希望を具体的に記入ください。〔 月ごろ 曜日 時から〕

・報告会全体の時間

(1) 長い (2) ちょうどよい (3) 短い

・報告会の開催場所

(1) 良い (2) どちらとも言えない (3) 悪い

※ (3) を選んだ方は、ご希望を具体的に記入ください。〔 〕

・議会からの活動報告について

(1) 良い (2) どちらとも言えない (3) 悪い

・グループワークについて

○テーマ

(1) 良い (2) どちらとも言えない (3) 悪い

○内容

(1) 良い (2) どちらとも言えない (3) 悪い

○時間

(1) 長い (2) ちょうどよい (3) 短い

お手数ですが裏面の記載もお願いいたします。

・今後の議会報告会でテーマにしてほしいこと（複数回答可）

- (1) 議会・議員の役割 (2) 議会・議員の活動 (3) 予算の内容 (4) 地域の課題
(5) その他 []

・議会報告会の感想、ご意見がございましたらご記入ください

[]

6 市議会の活動について、情報を得る手段は何ですか（複数回答可）

- (1) 議会だより（いわた羅針盤）
(2) 市議会ホームページ
(3) フェイスブック
(4) メール配信サービス（いわたホットライン）
(5) 新聞記事
(6) その他 []

7 議会だより（いわた羅針盤）について、ご意見がございましたらご記入ください。（例：どのような記事があれば読んでみたいですか。）

[]

8 市議会に期待することがありましたら、ご記入ください

[]

ご協力ありがとうございました。

アンケート用紙はお帰りの際、受付の回収箱へお入れください。

アンケート結果については、議会だより等で報告させていただくことがあります。

磐田市議会

平成 30 年度 議会報告会実施報告書

編 集：広報広聴委員会

委員長 芥川 栄人

副委員長 根津 康広

委 員 川崎 和子

芦川 和美

永田 隆幸

鈴木 正人

江塚 学